



パンフレット No. AD073
2011年3月 改訂
工 業 用

低起泡性ウール用均染剤

ミグレガルGWL-212

(MIGREGAL GWL-212)

ミグレガルGWL-212は、低起泡性のウール用均染剤であり、液流染色機、チーズ染色機等においても、発泡のトラブルを生じることなく使用できます。

緩染、移染効果に優れ、一般酸性染料、クロム染料等において十分な均染効果を発揮します。

性 質 ・ 性 状

外 観	淡褐色粘稠液体
成 分	含窒素ノニオン界面活性剤
イ オ ン 性	ノニオン
pH	約4.0 (1%水溶液)
溶 解 性	任意の割合で水に溶解します。 (上記の数値等は代表値であり、規格値ではありません。)

特 徴

1. ミーリング型染料、1:2含金属染料など高堅牢度染料に優れた緩染・均染効果を発揮します。
2. 染色時の湿潤、浸透力に優れ、染料の上付きが少なく、染色物の品位を向上させます。
3. 低起泡性であり、チーズ染色機、液流染色機等に使用しても泡によるトラブルが生じません。



使用 方 法

使用する染料の種類・濃度、被染物の種類・形態、処理法により異なりますが、標準使用量は0.3～1.0%o. w. f. です。

試 験 例

<浸透性試験>

試 料 ウールサージ (3×3cm)
均 染 剤 1g/L
 酸 1g/L
測 定 温 度 60℃
測 定 方 法 キャンバスディスク法
 (5回測定してその平均時間)
結 果

浸透時間

均染剤 \ 酸	無添加	酢酸 (90%) 1g/L	蟻酸 (80%) 1g/L
無添加	5分以上	5分以上	5分以上
ミグレガル GWL-212	28秒	40秒	36秒
某社品A	52秒	71秒	60秒

<起泡性試験>

空気吹込み法

直径10cmの円筒型のガラス管の底中央部からノズル径0.5mmのノズルにより5L/minの空気を吹き込み、その際に生ずる泡高を読み取る。試験液1L使用。

結 果

泡高 (cm)

測定温度	均染剤 1 g/L					
	40℃		60℃		80℃	
時間	1分	5分	1分	5分	1分	5分
均染剤						
ミクレガル GWL-212	1.2	3.0	1.1	3.0	4	4
某社品A	2.8	3.5	1.5	3.5	1.0	2.5

泡高 (cm)

測定温度	均染剤 1 g/L + 酢酸 1 g/L					
	40℃		60℃		80℃	
時間	1分	5分	1分	5分	1分	5分
均染剤						
ミクレガル GWL-212	4	8	4	4	4	4
某社品A	1.5	3.5	1.5	3.5	1.0	3.0

泡高 (cm)

測定温度	均染剤 1 g/L + 蟻酸 1 g/L					
	40℃		60℃		80℃	
時間	1分	5分	1分	5分	1分	5分
均染剤						
ミクレガル GWL-212	4	5	4	4	4	4
某社品A	1.5	3.5	1.5	3.3	1.8	2.5



ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

入 目

1 8 kg

取扱いおよび保管上の注意事項

本品は揮発性の溶剤を含有しております。その蒸気を吸入すると中毒をおこすおそれがありますので、取扱いにあたっては下記の注意事項をお守り下さい。

- 1) 取扱い場所は火気厳禁とし、局所排気装置を設けて下さい。
- 2) 容器から出し入れするときは、こぼれないようにして下さい。
- 3) 取扱い中は、保護手袋、保護メガネおよび必要に応じ防毒マスク、送気マスクなどを着用し直接身体に触れないようにして下さい。
- 4) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 5) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 6) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 7) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 8) 保管に際しては関係法令に従い、直射日光を避け、冷暗所（5℃～35℃）で保管して下さい。
- 9) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「安全データシート（SDS）」を用意しております。併せてご活用下さい。